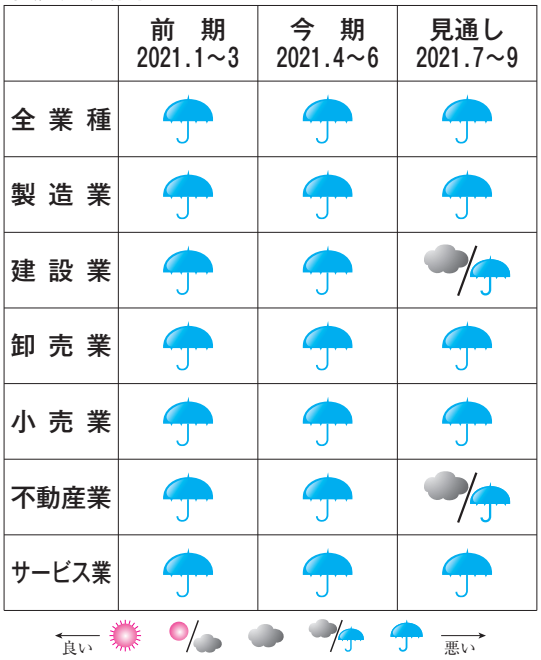
中小企業景気動向調査

業況はほぼ横ばい、来期もほぼ横ばい

景況天気図



（天気図は、調査結果から総合的に判断し作成した。）

概　況

景気は新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの持ち直しの動きがみられる。

但し、業種間でも一部では脆弱さが増しており、今後の動向に引き続き注意が必要である。

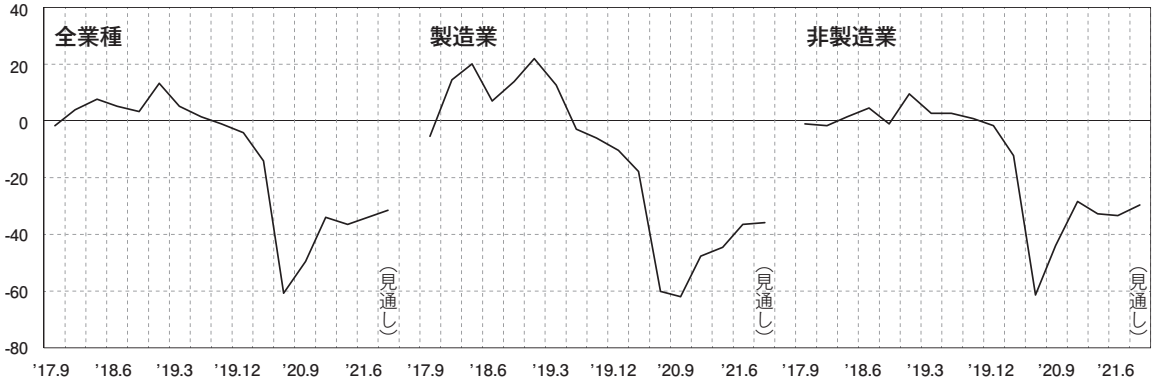
今期（４月～６月）の実績

業況ＤＩは▲34.1でほぼ横ばいでした。前期比の売上額ＤＩは▲25.5、収益ＤＩは▲27.8でともにやや改善しました。前年同期比の売上額ＤＩは▲15.0、収益ＤＩは▲16.8でともに改善しました。資金繰りＤＩは▲2.3でやや改善、人手過不足ＤＩは▲19.8で「不足」超となりました。設備投資実施割合は36.6％で、前期比▲4.7ポイント下降しました。価格は仕入価格ＤＩが37.6で大幅に上昇、販売価格ＤＩが▲3.3でほぼ横ばいでした。

来期（７月～９月）の見通し

業況ＤＩは▲31.4でほぼ横ばい、売上額ＤＩは▲15.7、収益ＤＩは▲19.8でともにやや改善の見通しです。設備投資実施割合は32.3％で下降の見通し、価格は仕入価格ＤＩが35.1でほぼ横ばい、販売価格ＤＩが1.1でやや上昇の見通しです。

業況ＤＩの推移



調査要領

- **調査時点**　2021年６月上旬
- **調査依頼先**　当庫取引先
- **調査方法**　郵送調査
- **調査対象期間**　2021年４月～６月（今期）
  （前期：2021年１月～３月
  来期：2021年７月～９月）
- **分析方法**　「増加」（上昇）したとする企業の占める構成比と、「減少」（下降）したとする企業の構成比との差（ＤＩ）により分析を行った。

※ＤＩ：Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）

調査依頼先数と回答状況

	依頼先数	回 答 数	回 答 率
製　造　業	403	182	45.2%
建　設　業	328	114	34.8%
卸　売　業	205	82	40.0%
小　売　業	168	53	31.5%
不 動 産 業	116	49	42.2%
サービス業	348	127	36.5%
合　計	1,568	607	38.7%